

建設の機械化

2002.12

No. 634



◆巻頭言 電力安全規制の方向性……………福島 章	1
岩盤対応型大口徑シールドマシンによる海底トンネルの施工 —志賀原子力発電所2号機放水路工事— ……………西田 勝幸・永田 健二・坂東 栄吾	3
大型重機による大規模岩盤掘削 —志賀原子力発電所2号機基礎掘削工事— ……………門木 秀一・橋本 徹・寺田 彰	9
中国横断自動車道浜田東ジャンクション桁撤去工事 —ユニットキャリヤ及びデッキリフトによる桁撤去工事— ……………山徳 康博・高見 直人	14
グラビヤ—中国横断自動車道浜田東ジャンクション桁撤去工事	17
反射法地震探査による切羽前方探査 —三次元 TSP システムの現場への適用— ……………山本 松生・瀬谷 正巳・吉野 隆之	22
発破を用いないトンネル切羽前方地質探査法 (SSRT) ……………加藤 卓朗・村山 秀幸・清水 信之	28
画像処理を用いた工事用接近警戒自動監視システム……………松本 三千緒	34
小断面トンネル専用覆工コンクリート切削機の開発……………中野 正憲	44
遮水機能検査システム「s-Can light」の開発 —安全かつ信頼性の高い最終処分場を目指して— ……………田中 勉・宮崎 啓一・平岡 博明・酒井 幸雄	49

JCMA

目次



◆ずいそう 単身赴任……………安齊 利昭	40
◆ずいそう 建設業のルーツ……………久保 文夫	42
◆部会報告 トンネル拡幅・補修用機械の現状 ……………機械部会トンネル機械技術委員会廃棄物処理分科会	55
◆新工法紹介 02-115 地下水流動保全工法「スループス工法」(飛鳥建設)/ 04-250 NT-Explorer 切羽前方探査システム (西松建設・戸田建設) ……………広報部会	58
◆新機種紹介……………広報部会	60
◆統計 建設産業の現状/建設工事受注額・建設機械受注額の推移 (2002年9 月)……………広報部会	64
行事一覧 (2002年(平成14年)10月)……………	70
編集後記……………(江藤・増子)	74
“建設の機械化”既刊目次一覧 (平成14年1月号~12月号)……………	(1)

◇表紙写真説明◇

凍結防止剤散布車 (NS 35 W)
(株)新潟鐵工所

ホッパ容量 3.5 m³ の乾式・湿式両用の凍結防止剤散布車である。シャシーは 4 t, 4 輪駆動で、後軸は坂道で低速作業が安定してできるよう低速型アクスルとした。
＜特長＞
① 散布装置には薬剤中の粗粒子を細粒化するミル装置を装備し、薬剤の飛散を軽減した。
② その装備効果として、散布操作かつ薬剤放出までのタイムラグが小さくなり、薬剤放出制御が容易となった。

主な仕様

車名	NS 35 W
ホッパ容量	3.5 m ³
溶液タンク容量	800 L
作業速度	5~40 km/h
散布幅	3, 4, 5, 6, 7 (5段切換)
散布量 (車速同調)	15, 20, 30, 40, 50 (5段切換)
全長	6,485 mm
全幅	2,200 mm
全高	2,880 mm
乗車定員	2人